

令和八年 農事気象予測（齋藤式）

二〇二六年 一白水星 丙午歳

いつぱくすいせい ひのえうまとし

- 一、一白水星の年は・・・ 天変・地妖、凶年。飢餓あり。
- 二、旧 暦・・・ 元旦が立春後の二月十七日で春は融雪遅く長い、突然の夏の感でヒデリ・暑い。秋は早いが蒸す。冬は暖冬傾向。
- 三、八年周期説・・・ 今年は五型の気象周期となる。春から梅雨期にかけ順調となるも秋の訪れ早い年。
- 四、五 行・・・ 旧暦で前年の九月から本年二月まで「水が六回」となり（山上木繫船・多雨）。三月から五月まで「金が三回」で（三金乾風）、六月から九月「土が四回」で（土多人脳）、十月から翌年一月まで「火が四回」（ヒデリ・旱魃）
- 五、未の日の判断・・・ 旧暦の未の日は、元旦より十日目となり、降水量多し。一升水。長雨・大雨・洪水に注意。
- 六、東方朔秘伝置文・・・ 二・三月大いに寒じて霜多く、四月風あり雨あり、五月水あり、六月大いに熱する水あり、人多く風疫病煩うなり、七月ヒデリ、八月雨ありて雷をなす、九月風あり、十月風あり草木万物さかゆる、十一・十二月大いに寒する。五穀よし、蚕よい、いと綿麻糸よし、麦よし、成物半吉。
- 七、金星運行・・・ 本年と近類似年は昭和以降、「豊作年」昭和二十九年・四十五年・五十二年・六十二年・平成六年・並作年」平成十四年・二十二年「不作年」昭和三十七年。
- 八、太陽黒点活動・・・ ※昨年より太陽活動が極大期となる。異常気象（高温・豪雨）に注意のこと。（昨年に続きオーロラ発生）

●令和八年の傾向・・・冬（厳冬・里雪）・春（春遅・降霜）・夏（高温・旱魃）・秋（早秋・蒸暑）・冬（暖冬・山雪）

新暦	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	令和九年
旧暦	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12
五行	水	水	水	水	水	金	金	土	土	土	土	火	火	火
九星配置	一白水星	九紫火星	八白土星	七赤金星	六白金星	五黄土星	四緑木星	三碧木星	二黒土星	一白水星	九紫火星	八白土星	七赤金星	六白金星
太陽と金星の運行	寒 小 5 20大	寒 小 5 20大	春 立 4 19雨	春 啓 5 20春	明 清 5 20穀	夏 立 5 21小	種 芒 6 21夏	暑 小 7 23大	秋 立 7 23処	分 白露 7 23秋	露 寒 8 23霜	冬 小 7 22立	雪 大 7 24冬	至 大 8 22
気 象 予 測	雪質軽・積雪量は日本海側で多くなる見込み。特に夜の冷え込み強く路面・水道などの凍結に十分注意すべし。気象激変に注意のこと。	二月四日 立春これより春 日本海低気圧により、雪の日多く積雪多い見込み。夜間の冷え込みは強く、春の訪れは平年より遅い予測。	寒暖差激しく霜たがたび降る。晴天日少なく、下旬、南岸低気圧の影響による風雪・強雨に要注意のこと。雪国の雪解け平年より遅れる予想	月の前半寒気が入り冷え込む、水害となる所があるやも。凍結・凍霜害注意。後半暖気が入り穏やかな日となる。	五月五日 立夏これより夏 晴天の日多くなるも、寒暖差あり夜低温く霜害注意。下旬落雷・降雹・集中豪雨に注意。下旬の天候悪化に注意。	上旬 落雷・降雹など気象の急変に注意。梅雨入りは早めで、梅雨らしい天候となるも局地的に降水多くなる。水害注意。	降水量少なく猛暑となる。時に雷鳴り大雨となる所あり。（前線の停滞に注意）梅雨明け早い見込み。台風発生は早い。	八月七日 立秋これより秋 雨少なく早魃傾向で蒸し暑く酷暑となる日あり。所により局地的に大雨あり。下旬の台風被害に注意のこと。	遠日点の影響により地温低いが湿度高い。また、風あり、早魃傾向は中旬ごろまで続く見込み。大型台風上陸に注意。気象激変に注意のこと。	平年より早く冷涼となり霜降る。中旬天候不順となる。冷雨、冷風も吹く。降水量は平年より多い見込み。台風による風・水害に注意。	十一月七日 立冬これより冬 上旬は天候不順なれど、中旬より晴れの日多くなる。気温とともに例年より高くなる。	晴天の日多く暖冬型となるも雪降れば大雪となる。太平洋側も降積雪注意。関東地方は水不足となるも降雪注意。	晴天の日あれど集中的に寒波来る。雪質重く大雪になる所あり。	
農 事 予 測	遠日点の影響により地温低く底冷えの日多いハウスなどの施設倒壊に要注意のこと。作物生育は、全般に遅れる見込み。	日本海側で降雪量多い見込み。一月同様に地温・気温ともに低く、作物の生育は悪い見込み。病害に注意のこと。露地作物の凍害の恐れあり。	作物生育悪く病害・生理障害に注意のこと。果樹類は春根の動き遅く剪定等の作業は急ぐに及ばず。下旬に天候荒れる。	桜・果樹類の開花は遅れる見込み。水稲・野菜苗の生育には苦慮、温度管理と病害に注意すべし。霜害注意。田畑の乾き悪い見込み。	近日点の影響により作物全般に生育良し。野菜・果樹の生育順調となる。田植えは早めが良。下旬の天候不順に注意すべし。	果実類の玉伸びなど生育良く、さくらんぼは糖度・着色ともに良く豊産の見込み。野菜類も根張り良く、生育良好となる。稲の過繁茂に注意。	作物全般に生育順調となる。スイカ・メロン等は糖度の上り良く、品質良好の見込みなれど、苗質・土質の影響大きい。稲は水管理の徹底を。	この月までの夏果実は糖度・着色共に良い。野菜苗は発芽不良・根張り悪い見込み。稲の出穂は平年並みとなる。早魃対策・水管理に注意。	遠日点の影響により地温低く早魃傾向なれば、作物の生育悪く遅れる見込み。稲は登熟期の水管理に注意すべし。水稲早生種告 晩生種悪	秋野菜は生育不良・病害に注意のこと。果樹類は着色・糖度平年より落ちるかも。また、中旬の天候不順に注意。果実の落果対策を講ずる事。	りんごは早生種は着色良いが、晩生種は着色・品質に苦慮するかも。	施設作物は生育良く、イチゴ・トマトなどは着色・糖度ともに高く、肥大良く品質良好となる。	施設作物は品質良く豊産の見込み。されど温度管理には充分注意のこと。	

※「平成 30 年（8 年前の事象）」（国内）1/22-23 首都圏大雪（東京積雪 20cm）、2/5-8 北陸西部大雪（1,500 台立ち往生）、7/3-8 西日本豪雨、6/18 大阪北部地震（M6.1）、9/6 北海道胆振東部地震（M6.7）、9 月台風 21・24 号（開空水没）